

愛知県若者・外国人未来応援事業の成果と課題

～ 2017-20 年度における取り組み～

大村 恵*

1. 研究の意義と目的

愛知県若者・外国人未来応援事業は、2017年度の文部科学省の事業である「地域の教育資源を活用した教育格差解消プラン～親子の学び・育ち応援プラン～」のうち、「学びを通じたステップアップ支援促進事業」として取り組まれた。この事業は、「学力格差の解消及び高校中退者等の進学・就労に資するよう、高校中退者等を対象に、高等学校卒業程度の学力の習得を目指し、学習相談（進学・就労に対する保護者の理解促進の観点から、保護者を含めた相談も可能。）及び地域の生涯学習施設を活用した学習支援を実施する」ことを目的としている。

2014年に子どもの貧困対策の推進に関する法律が成立し、子どもの貧困に対しては教育的支援が重要であるとされ、義務教育に在籍する子どもへの学習支援は広範に立ち上がってきているが、義務教育終了後の学習支援や、中学校・高等学校に在籍していない外国人児童への支援は、十分に取り組まれているとはいえない。これは、中学校卒業後の学習支援の必要性に対する社会的認知が進んでいないこと以上に、学習支援を求めている青少年を捕捉することが極めて難しいことに理由があると考えられる。捕捉されず、実態が明らかになっていないために、社会的認知も進んでいないと考えることもできる。教育行政・社会福祉行政が、中学校卒業後の青少年とつながり、ニーズをつかみ、支援を必要とする青少年に支援をとどける仕組みづくりが求められている。

ここで留意しておかなければならないことに、子どもの貧困に対する学習支援が、単に学力向上、上級学校進学を目指すことである場合、効果的な支援になるかという問題がある。特に中学校卒業以降の学習支援が求められる背景には、経済的貧困だけでなく、発達・健康・家庭・学校・職場・地域などの諸問題が関連し、学力の修得のみで問題解決が果たせるわけでないとする、どのような支援が求められているのか。また、学校や職場においていじめられたり、家族の間で信頼関係が形成されなかったりする中で、不登校・社会的引きこもり状態にある場合に、どのような学習支援が有効であるのかを探ることも重要な課題である。

本事業は、これらの困難な課題に立ち向かおうとするものと考えられる。愛知県がこの事業を行う背景には、都道府県の中でも不登校の中学校生徒数、中学校卒業後進路未定者数、高等学校等中途退学者数、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数が極めて多いことが指摘されている¹。また、初年度の取り組みの現場となった県内3地域（名古屋市、豊田市、豊橋市）は、いずれも外国人が急増している地域でもある。

本稿は、2017年度から2021年1月までの愛知県若者・外国人未来応援事業の取り組みをもとに、義務教育終了後の青少年に対する学習支援の内容と方法、組織と運営についての課題を抽出するものである²。

*愛知教育大学 教育ガバナンス講座

2. 愛知県若者・外国人未来応援事業の概要

(1)「愛知モデル 2017」

愛知県の取り組みの特徴は、「愛知モデル 2017」として、次のようにまとめられている³。注目しておきたいのは、若者サポートステーションと連携して学習支援を進めようとしていることと、各拠点に「若者未来応援協議会」を設置し、教育・福祉・労働・保健・多文化共生などの行政と関係団体の参加協力を求めて支援のネットワーク化を目指していることである。

<若者・外国人未来塾>

- 学習支援実施場所を、県内3か所に設置。（名古屋市、豊田市、豊橋市）
 - ・学習支援の実施者として、NPO（名古屋、豊橋）及び財団（豊田）に運営を委託。
 - ・それぞれ週2回の実施。
 - ・名古屋会場は2回のうちの1回で、外国人を対象とした日本語学習支援を実施。
 - ・いずれの会場もサポステと連携。
 - ・県や市などの協力により、使用料無料の会場を確保。

<若者未来応援協議会>

- 学習に困難を抱える者は、他の社会的困難（福祉、保健、就労、国籍に関するもの等）を抱えている場合もあるため、対象者の掘りおこし及び誘導ができるよう協議会を設置し、関係機関・団体等と連携を図る。（協議会の総称：「若者未来応援協議会」）
 - ・県レベルでの事業周知と、連携・協力体制の構築を図るため、合同協議会を設置。（年2回開催）
 - ・3地区の実情に応じた支援ができるよう、地区ごとに地区協議会を設置。（各地区ごとに年2回開催）
 - ・事業の評価及びモデル事業としての普及・啓発方策について協議し、報告書等を作成するため、研究部会を設置。（年2回開催）

※ 予算は国庫 10/10 の 500 万円。約 1/5 が協議会等経費。

(2)「子どもが輝く未来へのロードマップ」

愛知県は、2017年度から5年間の子どもの貧困対策の具体的な取組の工程を示す「子どもが輝く未来へのロードマップ」を2018年2月に作成した。これによって、若者・外国人未来応援事業は、2022年度までの継続的事業に位置付けられることになった。このロードマップは2020年2月に改訂され、若者・外国人未来応援事業は2022年度までに9地域で実施することが計画化された⁴。

(3)2020年度における事業の概要愛知県若者・外国人未来応援事業について、愛知県は次のように説明している⁵。

2020年度「若者・外国人未来応援事業」を実施します

愛知県教育委員会では、2017年度から高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）合格に向けた学習支援等を行う「若者・外国人未来応援事業」を実施しています。

事業の趣旨

高卒資格を取得していないことは、就職やキャリアアップにおいて不利となり、将来的な貧困の連鎖を生む要因ともなっています。その一方、義務教育段階では、放課後子ども教室や地域未来塾等を始めとする支援体制があるものの、義務教育修了後の学び直しのための支援は十分ではありません。

そこで、この事業では、高校中退者等を対象とした高卒認定試験合格のための学習支援及び相談・助言を行う「若者・外国人未来塾」を無料で実施します。本年度は、新たに一宮及び蒲郡の2地域を加え、県内7地域にて実施します。

また、名古屋、豊橋、豊田の3地域においては、日本語習得が十分でないため、希望の進路実現が困難となっている外国人を対象とした日本語学習支援も開始します。

学習に困難を抱える若者は、他の社会的困難を抱えていることも多いため、福祉、保健、労働、多文化共生等の関係機関等との支援ネットワークの構築を目指して、2017年度に設置した「若者未来応援協議会」を本年度も継続し、対象者をニーズに応じた適切な支援先へ導きます。

無料の学習支援・相談支援事業の実施（「若者・外国人未来塾」）

1 対象

中学校卒業後の進路未定者、高校中退者等

2 内容

(1)高卒認定試験合格等に向けた学習支援及び福祉、保健、労働、多文化共生等の関係機関等と連携した相談・助言

(2)外国人を対象とした日本語学習支援（名古屋・豊橋・豊田のみ）

3 実施場所・委託先・実施時間等

(1)高卒認定試験合格等に向けた学習支援及び相談・助言

ア【名古屋地域】愛知県図書館

（委託先：NPO 法人あいち・子どもNPOセンター）

※7月1日から実施

水曜日 17時30分～19時30分

土曜日 15時00分～17時00分

イ【豊橋地域】豊橋市青少年センター

（委託先：NPO 法人いまから）

※6月2日から実施

火曜日・金曜日 19時30分～21時30分

ウ【豊田地域】豊田市青少年センター

（委託先：公益財団法人豊田市文化振興財団）

※6月3日から実施

水曜日・金曜日 18時00分～21時00分

- 第1・第3土曜日 13時30分～16時30分
- エ【半田地域】ちた地域若者サポートステーション
(委託先：NPO 法人 ICDS)
※6月6日から実施
水曜日 15時00分～17時00分
土曜日 13時00分～17時00分(但し、第4水曜日は休館のため実施しない。)
- オ【春日井地域】春日井若者サポートステーション
(委託先：NPO 法人 ワーカーズコープ)
※6月4日から実施
月曜日・木曜日 18時00分～20時00分
- カ【一宮地域】一宮市立中央図書館
(委託先：NPO 法人 あいち・子どもNPOセンター)
※7月4日から実施
火曜日 17時30分～19時30分
土曜日 17時00分～19時00分
- キ【蒲郡地域】がまごおり若者サポートステーション
(委託先：NPO 法人 青少年自立援助センター 北斗寮)
※6月4日から実施
木曜日 15時00分～17時00分
土曜日 15時00分～19時00分

(2)日本語学習支援(学習言語としての)

- ア【名古屋地域】愛知県図書館
(委託先：NPO 法人 あいち・子どもNPOセンター)
※7月4日から実施
土曜日 15時00分～17時00分
- イ【豊橋地域】豊橋市青少年センター
(委託先：NPO 法人 いまから)
※6月4日から実施
木曜日 19時30分～21時30分
- ウ【豊田地域】豊田市青少年センター
(委託先：公益財団法人豊田市文化振興財団)
※6月3日から実施
水曜日・金曜日 18時00分～21時00分のうち1時間

「若者未来応援協議会」の設置

学識経験者の助言のもと、若者サポートステーション、学校、就労支援機関を始め、福祉、保健、労働、その他関係機関・団体等と、効果的な連携・協働の在り方等を協議します。

3. 4年間の実績状況

2017年に県内3ヶ所（名古屋地域、豊橋地域、豊田地域）で始まった「若者・外国人未来塾」は、2019年に春日井地域と半田地域、2020年に一宮地域と蒲郡地域に拠点が追加された。この4年間の数的実績を表で示した⁶。なお、2020年度については、1月31日までの数値である。拠点を拡大したこともあり、学習者の実人数は日本人も外国人も増加している。日本語学習支援は増減があるが、拠点を拡大した2020年度は飛躍的に増加した。高卒認定試験の受験者・合格者も、増加している。

(1) 学習支援参加者

学習支援参加者（実人数）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	25	20	24	20
豊橋地域	11	18	23	32
豊田地域	9	14	30	34
半田地域			3	5
春日井地域			5	9
一宮地域				4
蒲郡地域				11
合計	45	52	85	115

学習支援参加者（延べ人数）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	61	180	222	198
豊橋地域	190	191	401	426
豊田地域	154	102	371	456
半田地域			47	51
春日井地域			135	191
一宮地域				24
蒲郡地域				115
合計	405	473	1176	1461

学習支援参加者（実人数；日本人内数）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	17	19	24	20
豊橋地域	11	11	10	8
豊田地域	8	9	10	11
半田地域			3	5
春日井地域			5	9
一宮地域				2
蒲郡地域				9
合計	36	39	52	64

学習支援参加者（実人数；外国人内数）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	8	1	0	0
豊橋地域	0	7	13	24
豊田地域	1	5	20	23
半田地域			0	0
春日井地域			0	0
一宮地域				2
蒲郡地域				2
合計	9	13	33	51

(2) 日本語学習支援参加者

日本語学習支援参加者（実人数）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	12	5	20	4
豊橋地域				19
豊田地域				24
合計	12	5	20	47

日本語学習支援参加者（延べ人数）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	49	26	118	20
豊橋地域				161
豊田地域				247
合計	49	26	118	428

(3)高卒認定試験受験者数等
受験者数

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	4	10	8	7
豊橋地域	2	6	7	32
豊田地域	2	3	5	6
半田地域			2	1
春日井地域			2	4
一宮地域				2
蒲郡地域				1
合計	8	19	24	29

一部科目合格者数

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	2	4	3	3
豊橋地域	2	2	3	5
豊田地域	2	1	1	4
半田地域			0	1
春日井地域			0	5
一宮地域				0
蒲郡地域				0
合計	6	7	7	18

全科目合格者数（高卒認定資格取得）

	2017	2018	2019	2020
名古屋地域	2	3	4	3
豊橋地域	1	4	3	4
豊田地域	1	1	2	2
半田地域			2	0
春日井地域			0	1
一宮地域				1
蒲郡地域				0
合計	4	8	11	11

(4)外国人の国籍の分布（2020年度）

	学習支援参加者	日本語学習支援
名古屋地域		フィリピン2人、中国2人
豊橋地域	ペルー13人、ブラジル10人、 フィリピン1人	ペルー12人、ブラジル7人
豊田地域	ブラジル8人、ペルー5人、中国5人、 フィリピン3人、ボリビア2人	ブラジル9人、ペルー5人、中国5人、 フィリピン3人、ボリビア2人
半田地域		
春日井地域		
一宮地域	フィリピン2人	
蒲郡地域	フィリピン2人	

外国人の参加者は、口コミ、学校・国際交流協会の紹介など、つながりの中で増えている。

4. 対象とする学習者群への支援

(1)本事業に参加する学習者群

本事業の開始時には、10代後半の青少年が中心的なターゲットになることが想定されていた。しかし、問い合わせや、実際の参加者層からは、違った学習者の姿が見えてきた。2017年度の名古屋地域の取り組みのまとめとして、「特徴別学習者群」整理した⁷が、4年間の取り組みを

踏まえて次のような学習者群に再整理できるだろう。

A：日本人の学習者群

- 1) 10代後半の日本人の学習者；高校不進学、高校休学・不登校、中退および不登校経験者。
- 2) 20代から50代の日本人の成人学習者；就労しながら、高校卒業認定試験を目指す。貧困、疾病、少年院入院などの理由での高校不進学者および中退者。
- 3) 20代から50代の日本人の成人学習者；ひきこもりまたは精神疾患等の要因から仕事についていない者。また、高卒資格を必要としなかった専業主婦等。高卒認定資格を取得することで安定した就労・社会参加を目指している。
- 4) 60代以上のシニア成人学習者；学び直しのニーズを持つ学習者。夜間中学校からの接続もある。

B：外国にルーツを持つ学習者群

- 1) 中学校・高校に在学中の10代の外国にルーツを持つ学習者；日本語の読み書きに課題があり、補習と高校卒業および上級学校進学を目指している。
- 2) 10代後半の外国にルーツを持つ学習者；就労しながら、高校卒業および上級学校進学を目標としている。
- 3) 20代から40代の外国にルーツを持つ学習者；日本語の読み書きに課題がある。現在の仕事または就労のための日本語学習。子どもに同伴して参加する場合もある。

本事業が「高校卒業認定試験にむけた学習支援」であるという性格から、現在の「子どもの貧困」に関わる青少年の学習者だけでなく、過去において「子どもの貧困」の中で教育から排除されてきた成人学習者、外国にルーツを持ちかつ日本社会への参加に困難を持っている青少年および成人学習者を対象とすることは、今後も必要であると考えられる。

ただし、(B-3)の20代から40代の外国にルーツを持つ学習者の場合、高校卒業認定試験を目指さないのであれば、国際交流関係の日本語学習支援と連携し、より適切な支援の場を用意することが考えられる必要がある。名古屋地域において2020年度の日本語学習支援参加者が減少したのは、日常会話のための日本語学習ではなく、学習言語としての日本語学習への支援に目的を明確化したことが影響している。

(2)10代後半の日本人の学習者（A-1）への支援

学校とのつながりが切れてしまい、不登校傾向をもつ学習者は、本事業とつながることが難しい学習者である。学校関係者や学習・教育への不信感や、友人・家族との人間関係の傷つきを抱えている場合、学習への参加意欲を維持することは難しい。本事業への参加のためには、不登校支援の機関・民間団体等との連携が求められる。

一方、学校とのつながりが切れる前に本事業につながることができれば、オルタナティブな学習の場として本事業を活かすことが可能である。中学校、高校在籍中に、高校卒業認定試験の存在を周知し、進路指導の中で、学習者が主体的に選択可能な進路として提示されることが必要である。中学校・高校における生徒指導、不登校問題への対応および進路指導との連携が求められる。豊田地域において、日本人の学習者が一貫して増加傾向であるが、事業担当者は豊田市内の県立私立高校において中途退学時に生徒への周知努力がなされていることに一因があるのではな

いかと、説明している⁸。

(3) 20代から50代の日本人の成人学習者（A-2）（A-3）への支援

本事業は、1990年代以降蓄積されてきた社会的に排除されてきた学習者とその家族により強く求められている。成人教育における機能的識字学習としての性格をより色濃く持っているといつてよい。

そのために、学習支援の方法と内容について、貧困、疾患、生い立ちなどの学習者の生活背景への理解と尊重を基盤として、学習者に寄りそう支援が必要とされる。対話を求める学習者もいれば、踏み込んで欲しくないと思う学習者もいる。学習者主体、学習者中心の学習支援のあり方を一人ひとりに即して考えることが求められている。

なお、(A-2)のひきこもり傾向にある学習者は、本人の参加意欲が高まっているかどうか、また、家族関係に困難さがあるかどうか、支援方法に関わって重要である。ひきこもり支援の機関・民間団体等との連携、家族支援の検討が必要になる。本事業の一環として「学校に行けなかった若者や日本で暮らす外国人が自らの体験を語る会」が開かれているが、若者サポートステーションの支援とも連携し、ひきこもり支援の受け手であった青年が、支援の担い手として若者サポートステーションや本事業のスタッフとして就労していることが報告されている⁹。

(4) 60代以上のシニア成人学習者（A-4）への支援

必ずしも就労や社会参加を目指しているわけではないが、学び直しとして高校卒業認定および上級学級への進学を目指す学習者は、比較的安定して学習に取り組むことができる。この学習経験を経て、学習のさらなる継続と支援者として学習支援事業に参加する行動が現れているが、この動きが広がることを期待したい¹⁰。

(5) 外国にルーツを持つ青少年（B-1）（B-2）への支援

外国にルーツを持つ住民が増加する中で、特に20代の青年層の増加が拡大している。今後、外国にルーツを持つ子育て家庭が増大することが予想される。

しかし、そうした外国にルーツを持つ子育て家庭の場合、家庭内では母語で会話し、日本語の読み書きに触れることが少ない生活をおくることが多い。そのため学習言語としての日本語の習得に困難を抱え、学校での学習についていけない状況が多いことが知られている。(B-1)の中学校・高校に在学しながら本事業を求める理由がここにある。こうしたニーズに中学校・高校が応えることができていないという状況も浮かび上がっている。

また、すでに就労している(B-2)の場合も、日常的な会話はできているが、日本語の読み書きに困難があったり、大学・専門学校等への進学のための学習を求めていたりすることから、学習支援が求められている。

したがって、本事業においては、学習言語としての日本語の修得が重要であり、学校教育において取り組まれている学習言語としての日本語学習と連携して進める必要がある。

3. 中学校卒業後の学習支援を拡げるために

中学校卒業後の学習支援は、中学生を対象とする学習支援とは異なる性格を持っている。今後の本事業の展開のために必要な配慮と検討事項を挙げておきたい。

(1) 高校卒業認定試験の意義と活用

本事業が目指している高校卒業認定の意義について、社会的な認知を拡げる必要がある。特に学校関係者がこの制度を活用する意義を認知することによって、子どもの貧困への対応を拡げ、オルタナティブな学習教育を提示することができ、子どもたちのストレス軽減を図ることが期待できる。

高校不就学者、高校中途退学者は、なんらかの理由で高校進学を諦めたり、退学を余儀なくされたりして、学校教育から離れることになるが、同時にそれは社会的な保護からも排除されてしまうことになり、貧困や疾患、介護などの困難を抱えていても必要な支援が届かなくなってしまう。学校に在籍することで支援につながることを望ましいが、それが適わない場合には、学校教育に代わる学習の場とつながること、上級学校に進学すること、自治体の支援ネットワークに認知されることなどのオルタナティブな支援が用意されていることが求められる。

高校卒業認定試験は、オルタナティブな支援の一つとして重要である。学習支援を利用した自学自習による高校卒業認定は、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」に示される多様な学習の保障を社会的に評価・認定する制度であり、スクーリングを必要としないことから、この制度を利用した学習は時間的、物理的、経済的負担が少ない極めて多様な展開が可能である。このことは、不登校・ひきこもりを経験した学習者に対しても、社会に復帰するために、負担の少ない学習機会を用意できることになる。また、社会的な排除を経験したものにとって、高校卒業認定が社会的に認められることは、自己肯定感の獲得にとっても重要である。

外国にルーツを持つ青少年にとっても同様のことがいえる。負担が少ないことは重要であり、また、高校卒業認定は、日本社会から認められることであり、日本社会・地域社会への参加・包摂が促進されることが期待される。

なお、中学校・高校在籍者に本制度を周知することは、子どもが高校不就学・中退を選んだとしても、同学年の子どもたちに遅れることなく上級学校への進学が可能になるオルタナティブな進路があることを示すことである。選択可能な進路が数多くあることは、子どもたちの進路決定のストレスを軽減し、社会的に排除されるリスクも軽減されることが期待される。

(2) 若者・外国人未来応援事業の実施体制と支援主体形成

本事業は、若者未来応援協議会とその研究部会、地区協議会によって、全県および各地域の行政機関・NPO等の横断的かつ包括的なネットワークを作ることを目指している。そこに期待されているのは、セーフティネットにつながっていない中学校卒業後の青少年を支援のネットワークにつなげ組織化すること、対象者の多様で複合的な困難に対して多面的な支援をつなげることで、それらを通して、全県のおよび地域的な支援主体としてのネットワークの形成をはかることである。特に、県と市町村とNPO等民間団体、福祉・労働・医療等一般行政と教育行政という多様な主体の参加する横断的ネットワーク形成は、今までにない先駆的な取り組みといえるだろう。その成果の一つとして、資料として収録した2017年度に作成したリーフレットがある。支援の

ネットワークが市民・青年に示され、支援活用の手がかりになることを目指している。

しかし、この若者未来応援協議会は、愛知県の条例による設置であり、各地域の自律的な支援主体形成としての取り組みに転換していくためには次の段階の政策的ステップが求められる。今後は自律的な支援主体としてのネットワークの形成への模索に踏み出す必要がある。

2019年度からは、子ども・若者育成支援推進法第19条に基づく「子ども・若者支援地域協議会」を活用して、若者・外国人未来応援事業を地域に展開することに取り組んでいる。子ども・若者支援地域協議会は、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者に対し、様々な機関がネットワークを形成し、それぞれの専門性を生かした発達段階に応じた支援を行う仕組みとして設置が求められている。不登校・ひきこもりの青少年への支援も、このネットワークの中心的な目的の一つとなっている。豊田地域、豊橋地域において、地区協議会を「豊田市若者支援地域協議会」「豊橋市子ども・若者支援地域協議会」の一部に位置付けて開催している。その成果としては、協議会に参加する子ども・若者支援関係機関・団体における本事業の周知が促進されたことが報告されているが、一方で、子ども・若者地域協議会における協議題が数多く、本事業に関わる協議時間が限定されてしまうという課題も指摘されている。子ども・若者支援地域協議会そのものを活性化し機能を高めていくことと合わせて、本事業を地域の子ども・若者支援計画に位置付けていくことを期待したい。

(3)愛知県のリーダーシップと切れ目のない学習支援

4年間の取り組みで、毎年課題として挙げられていることは、事業が単年度であり、かつ国の予算執行と連動しているため、事業の開始が7月以降となり、3月の初旬に事業を終了しなければならないという予算執行に関わる問題である。このために、8月の高校卒業認定試験の前に1カ月しか学習支援を行うことができず、また試験の申し込み時期に、学習支援を行うことを宣伝することもできない。また、3月から6月までの4ヶ月間が学習支援の空白期間となってしまう。いうまでもなく、学習者は学習の継続を求めており、学習支援の空白期間は学習者のモチベーションを冷やしてしまう。事業の効果を上げるためには、空白期間のない、切れ目のない学習支援を実施することが必要である。

豊田地域、豊橋地域では、事業者の自前の予算と、支援者のボランティアによって空白期間が生じないような運営努力がなされている。名古屋地域でも3月の空白期間を短縮している。しかし、事業の趣旨からすれば、学習支援の空白期間を作らないことは、愛知県の責任において行うべき努力であろう。学習者に向き合っただけニーズに応えようとする支援者の善意に頼ることは、事業の継続・拡大を危うくするものである。

全体としての事業推進のために、実施地域の自立性、ネットワーク形成を尊重しつつ、市町村・NPO等民間団体、支援者が事業に取り組むことのできる制度・財政などの基盤整備において、愛知県のリーダーシップを求めたい。

(4)若者・外国人未来応援事業支援者の養成とネットワーク形成

本事業は、子どもの貧困対策の教育支援の一環として実施されている。しかし、本事業の学習者の半数以上は20代以上の成人が対象になっている。1990年代からの貧困の蓄積があるために、「子ども・若者支援」で想定されている39歳までという枠組みを超えて、40代以上の成人も学習者として参加している。したがって、事業全体でいえば、子どもよりも成人の比率が高いので

ある。

20代から50代の日本人の成人学習者(A-2)(A-3)への支援で述べたように、本事業の支援者は、成人教育における支援者としての役割と資質が求められている。子どもに対して教える学習支援とは異なる支援方法が求められることは、例えば支援者として参加している大学生にとっては初めての経験であることが多い。支援者養成の固有の課題として捉える必要がある。学習者の生活背景への理解、精神疾患などを持つ学習者への対応についてのスキル、教育支援以外の社会福祉的な経済支援・生活支援・就労支援などにつなげる他機関連携への理解などが、支援者養成の課題として想定できる。

こうした課題に対応する研修の場はあまり見ることができない。支援者の力量向上を目指す研修の機会を全県的に用意すること、また、支援者が支援実践を交流し、支援者としての力量を向上し、各地域での取り組みを支え、拡げていくことができる支援者ネットワークの形成を目指すことが必要である。

(5)信頼できる他者、信頼できる社会制度を配置する社会教育的支援

本事業は、高校卒業認定試験のための学習支援であるが、その支援の内容は、高校レベルの教育課程を教えることを核としながらも、それに留まらない支援が求められている。何より、本事業の困難さは、学習者の組織化にある。学習者が自ら参加したくなること、継続したいと思うこと、そのことなしには事業として成立しない。

それでは、学習者の組織化を支えるものは何か。

仮説的に提示するとすれば、一つは、支援者が学習者にとって信頼できる存在であること、一緒にいたいと思える存在であること、助けを求めれば応えてくれる存在であること、というような支援者の存在であろう。そのために、前に触れた養成とネットワークが重要になる。

もう一つは、支援者を配置し維持する本事業、制度、それに関わっている団体・機関、市町村、愛知県という、社会的な諸機関諸団体が、学習者にとって信頼できる存在として認識できることではないだろうか。個人の世界や、家族世界から一歩踏み出て、社会というものが学習者の生活や人生を支えてくれる構造を持っていることに気づくこと、それが学習者自身を支えることになる。

本事業は、そうした信頼できる他者や、信頼できる社会制度と出会える機会であることが求められている。そのために、学習者が支援者とふれあい、社会制度を認識し、自分の人生を歩んでいける生き方を描くための社会教育支援こそが、支援の基盤であり、骨格であり、内容を形成しているのではないだろうか。

本事業の今後の展開の中で、こうした支援内容についての実践研究を望みたい。

おわりに

4年間の実績の拡大は、中学校卒業以降の学習支援がニーズに応えるものであること、2017年に事業が開始された3地域では、確実に学習の輪が広がっていることを示している。しかし、今後の事業拡大のためには、財政規模の拡大と、地域における支援体制の形成、県と市町村・NPO等民間団体とのていねいな連携が不可欠である。4年間の成果と課題を踏まえた、さらなる取り組みに期待したい。

¹ 愛知県教育委員会生涯学習課『平成 29 年度愛知県「若者・外国人未来応援事業」成果報告書』2018 年 3 月。愛知県教育委員会生涯学習課『令和元年度（2019 年度）愛知県「若者・外国人未来応援事業」成果報告書』2020 年 3 月。

² 筆者は、2017 年度から 2020 年度まで若者未来応援協議会合同協議会の会長および、名古屋地域と一宮地域の委託団体である NPO 法人あいち・子ども NPO センターの代表理事を務めている。本稿は平成 29 年度、令和元年度に作成された成果報告書と、若者未来応援協議会での報告と協議をもとに考察を行った。

³ 同上、3 頁。

⁴ 愛知県「子どもが輝く未来へのロードマップ～子どもの貧困対策の着実な推進のために～」2020 年 2 月改訂、2 頁。

⁵ 2020 年度「若者・外国人未来応援事業」を実施します（2021 年 1 月 31 日閲覧、<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syogaigakushu/wakagai2020.html>）

⁶ 愛知県教育委員会生涯学習課資料「令和 2 年度若者・外国人未来塾実績状況（1 月 31 日現在）」より作成。

⁷ 前掲『平成 29 年度愛知県「若者・外国人未来応援事業」成果報告書』、16 頁。

⁸ 豊田市文化振興財団青少年育成委員会（2021 年 2 月 20 日）における、豊田市青少年センター職員の事業説明より。

⁹ 「学校に行けなかった若者や日本で暮らす外国人が自らの体験を語る会」2020 年 12 月 6 日。

¹⁰ 前掲『令和元年度（2019 年度）愛知県「若者・外国人未来応援事業」成果報告書』2020 年 3 月、13 頁。

資料

愛知県教育委員会 若者・外国人未来応援事業

若者・外国人未来応援塾

高卒認定試験 合格に向けた学習支援

毎週 金曜日 14:00~17:00



と

がいこくじん 外国人を対象とした日本語学習支援

毎週 火曜日 15:00~17:00



を、無料で行っています!

お問い合わせはこちらまで

NPO法人 あいち・子どもNPOセンター
052-232-3655

中学校卒業後に進路が未定であったり、高校を中退して進路に迷っている方を応援します。高卒認定試験の勉強をしたい方や、日本語をもっと分かるようになりたい方のために、NPOスタッフや大学生のボランティアスタッフが一人一人の希望に合わせて、個別にサポートします。

- 受講料・教材費 無料
- 場所 愛知県生涯学習推進センター（県東大手庁舎2階）
 - ・地下鉄名城線「市役所」駅2番出口から東へ徒歩約3分
 - ・名鉄瀬戸線「東大手」駅から南西へ徒歩約3分



高卒認定試験を受けてみませんか?

- ◎ 合格者には大学・短大・専門学校を受験資格が与えられます。
- ◎ 中卒より良い条件で就職や転職ができます。

いつ、どこで、どうやって受けるの?

- 期日：8月（第1回）と11月（第2回）の年間2回（それぞれ2日間）行われます。
- 会場：愛知県では、例年名古屋市中区とその周辺で行われています。（各回700名程が受験）
- 申込：「受験案内」を手に入れてください。（4月上旬、7月下旬頃配布）

合格するには?

- 8~10科目の試験に合格すると、「高卒認定試験合格」です。
- 約4割程度の受験生が「高卒認定試験合格」、約9割の方が1科目以上合格（科目合格）しています！
- 合格科目は次回から受験免除になります。
- 一度で全て合格する必要はありません。
- 解答は全て選択式です。

自分のペースで受験すれば大丈夫!

○ このリーフレットを手にとられた方へ ○

まちは、学習以外にも、就職に迷っている方、メンタルヘルスの悩みを抱えている方、外国人の方のご相談を何うさまざまな支援機関・団体があります。下記の窓口へ直接ご相談いただくことももちろん可能です。あなたの悩みを、是非ご相談ください。

次のメッセージは、それぞれの支援機関・団体から届けられたメッセージです。

なごや若者サポートステーション（サポステ）

052-700-2396
「最近、家にいることが多いなあ。」
「就職しないと、でもどうしていいかわからない、プランクがあるって自信ない...」
そんな不安な気持ちも相談してください。
ゆづり、滝葉に前に進むために、さまざまな方法やきっかけを提案いたします。
【対象：15~39歳 無料 通所できる方】

あいち若者職業支援センター

052-264-0667
「就職活動を始めようと思っているけれど自信が持てない!」「転職しようと思っているけれど人間関係が不安!」「私にはどんな仕事があるの?」など、ひとりで悩んでいませんか?仕事に関する様々な悩みを臨床心理士・キャリアコンサルタントがカウンセリングを行います。ご相談は家族の方だけでも大丈夫です。まずはお気軽にお問い合わせください。
【対象：およそ15歳~45歳未満】

愛知県精神保健福祉センター

052-962-5377
人と接するのが苦手、自分の部屋に閉じこもりがち、死にたいくらい辛い、気がわかない、やめたくてもやめられない...そんな悩みをひとりで抱えていますか。話すことで、気持ちが楽になることもあります。今できることを一緒に考えていきましょう。ご相談をお待ちしています。
※メール相談も受け付けています。
<https://www.aichi-pref-emai.jp/top.html>
名古屋市内にお住まいの方は、名古屋精神保健福祉センターこちら（052-483-2095）にご相談ください。

愛知わかものハローワーク

052-264-0601
正規雇用を目指す若年者（おおむね45歳未満）を専門的に支援します。正社員での就職を目指している若者や正社員経験の少ない若者を対象にしたハローワークです。
・専門の相談員による担当者制支援
・就職面接会を月1回開催
・就職を勝ち取る各種セミナーを毎月開催
正社員を目指す若者の就職を全力でサポート

NPO法人こどもたちのアジヤ連合

080-5108-6342
国籍やルーツ、言葉や文化の違いが悩み、苦しんでいる人はいませんか?
私たちは「違い」を大切に国際交流団体です。みんなと違うことで悩んでいる人はいれば相談して下さい。あなたのお話を聞かせて下さい。
【対象：15歳~39歳】

愛知県国際交流協会

052-961-7902
多文化ソーシャルワーカーが、外国につながる方の方の相談・支援をしています。家庭のこと、お子さんの教育や進路のことなど、困ったことがあったら、お電話ください。相談は無料。秘密は守ります。

ボリガル達・日本語	月~土曜日 10:00~18:00
スベリン達	月~土曜日 13:00~18:00
英語	月~土曜日 13:00~18:00
中国語	月曜日 13:00~18:00
フィリピン/タガログ語	木曜日 13:00~18:00

※相談費、年費等別注/291-2733333

学習支援だけでなく、連携先のまちの窓口とも協力し、さまざまなご相談に応じます。

学習支援

NPO法人 あいち・子どもNPOセンター
(高認試験に向けた学習支援・学習相談支援)
(外国人向け日本語学習支援)

愛知県精神保健福祉センター
(名古屋市内の方は、名古屋精神保健福祉センターこちらへ)

こころの健康

就職

ヤング・ジョブ・あいち

- あいち若者職業支援センター
- 愛知わかものハローワーク
- 愛知新卒応援ハローワーク

なごや若者サポートステーション

愛知県国際交流協会
(外国人のあらゆる相談)

国際交流団体
NPO法人こどもたちのアジヤ連合

がいこく 外国にルーツを持つ方

イラスト「カレー そば」さん（学習支援参加者）

連携先の詳細は裏面をご覧ください。

ご存知ですか？無料の学習支援

高卒認定試験のための学習をサポートします！



地域	会場	実施日	委託団体
名古屋	愛知県図書館 (名古屋市中区三の丸一丁目9-3)	水曜日 17:30~19:30 土曜日 15:00~17:00 【日本語学習支援】 土曜日 15:00~17:00	NPO法人 あいち・子どもNPOセンター 電話 052-253-6398
豊橋	豊橋市青少年センター (豊橋市半田町東里26)	火・金曜日 19:30~21:30 【日本語学習支援】 木曜日 19:30~21:30	NPO法人いままら 電話 090-9894-8823
豊田	豊田市青少年センター (豊田市小坂本町一丁目25)	水・金曜日 18:00~21:00 第1・第3土曜日 13:30~16:30 【日本語学習支援】 水・金 18:00~21:00 のうちの1時間	公益財団法人 豊田市文化振興財団 電話 0565-32-6296
半田	ちだ地域若者サポート ステーション (半田市浜小路町155番地の3 フランチイ3F)	水曜日 15:00~17:00 土曜日 13:00~17:00 【第4水曜日は休館のため 実施しない】	NPO法人ICDS 電話 0569-89-7947
春日井	春日井若者サポート ステーション (春日井市中央通一丁目88 駅前第3共同ビル4F)	月・木曜日 18:00~20:00	NPO法人ワークスコープ 電話 052-222-3850
一宮(仮)	一宮市立中央図書館 (一宮市尾張一宮駅前ビル)	火曜日 17:30~19:30 土曜日 17:00~19:00	NPO法人 あいち・子どもNPOセンター 電話 052-253-6398
蒲郡(仮)	がまごおり若者サポート ステーション (蒲郡市元町9-9)	木曜日 15:00~17:00 土曜日 15:00~19:00	NPO法人 あいち青少年活動センター北斗東 電話 0633-67-3201

・愛知県教育委員会からの委託を受け、それぞれの委託団体が実施します。(若者・外国人未就学)
・実施詳細は、それぞれの委託団体にお気軽にお問合せください。

【問合せ】 愛知県教育委員会生涯学習課 社会教育推進グループまで 電話 052-954-6780

高卒認定試験に受かると何がいの？

大学・短大・専門
学校の受験資格
が得られます！

中卒より良い条件で
就職や転職
ができます！



いつ、どこで、どうやって受けるの？

- チャンスは年2回。8月と11月(それぞれ2日間)よ。
- 愛知県では、例年名古屋及びその周辺に会場が設けられているわね。
- 各回700人程の、いろいろな年齢の方が受験されているわ。
- 申込みには、まず「受験案内」を手に入れてね！
- 4月上旬と7月下旬頃、県内の8か所で配布されるわ。くわしいことは愛知県教育委員会生涯学習課(052-954-6780)に電話してね！

合格するには？

- 8~10科目の試験に合格すると「高卒認定試験合格」よ。
- 受験生の4割程度の方が「高卒認定試験合格」。約9割の人が1科目以上に合格(科目合格)しているわ。
- 合格科目は次回から受験免除になるから、一度で全部合格する必要はないの。だから、自分のペースで受験できるわ！
- 解答は全て選択式よ。
- 高校中退の場合でも、修得した単位があれば、受験免除になる科目があるかもしれないから確認しようね。

「若者・外国人未就学」にすれば、高卒認定試験のための勉強はもちろん、あなたの状況に応じて、免除科目のことだって、出願の手続きのことだって教えてもらえるよ。進路の悩みの相談にもってらえるよ！

このチラシは一般財団法人 ところなかな社会をつくるための子供教育財団の助成を受けて作成しています。

愛知県教育委員会委託事業 2020年度若者・外国人未就学支援事業(名古屋)

学習支援

一人一人の希望に合わせて勉強します！

2020年7月1日~2021年2月27日 受講料・教材費 無料

高等学校卒業程度認定試験(毎年8月&11月)の合格を目指します！
※高等学校卒業程度認定試験に合格すると、大学や専門学校受験資格が得られ、就職の幅も広がります。◎大学生ボランティアもサポートするよ！

毎週水曜日 17:30~19:30

毎週土曜日 15:00~17:00

(両曜日とも学習相談も受け付けています)

主に高卒認定試験を受ける人のための日本語学習
毎週土曜日 15:00~17:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染状況によっては中止となることもあります。

下記の日はお休みです。
8/22/9/23/10/3/10/10/12/30/1/2
また、愛知県図書館の休館日はお休みとなります。

高等学校卒業程度認定試験前には以下の金曜日にも実施します
(両日とも 17:30~19:30)

8月試験に向けて 8月7日
11月試験に向けて 11月6日



会場
愛知県図書館 5階 研修室
名古屋市中区三の丸一丁目9-3

アクセス
地下鉄 舞舞線・桜通線「丸の内」駅
8番出口から徒歩5分
基幹バス 名駅1系統・名駅14系統
「愛知県図書館」停留所から徒歩3分

実施・お問合わせ先: NPO法人あいち・子どもNPOセンター TEL:052-253-6398

愛知県教育委員会委託事業 2020年度若者・外国人未就学支援事業(一宮)

学習支援

一人一人の希望に合わせて勉強します！

2020年7月4日~2021年2月27日 受講料・教材費 無料

毎週火曜日 17:30~19:30

毎週土曜日 17:00~19:00

(学習相談も受け付けています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染状況によっては中止となることもあります。

高等学校卒業程度認定試験(毎年8月&11月)の合格を目指します！(大学・専門学校をを目指す人も応援します！)

※高等学校卒業程度認定試験に合格すると、大学や専門学校の受験資格が得られ、就職の幅も広がります。

下記の日はお休みです。
8/1/9/22/11/3/11/24/
12/29/1/9/11/12/2/23
また、一宮市立中央図書館の休館日はお休みとなります。

高等学校卒業程度認定試験前には以下の金曜日にも実施します。
(両日とも 17:30~19:30)

8月試験に向けて 8月7日
11月試験に向けて 11月6日



会場
一宮市立中央図書館
7階 講座室
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル5階~7階

アクセス
名鉄「名鉄一宮」駅下車・東へ徒歩1分
J R 「尾張一宮」駅下車・東へ徒歩1分

実施・お問合わせ先:
NPO法人あいち・子どもNPOセンター
TEL:052-253-6398

高卒認定試験に合格すると 高卒と同等の資格がもらえます！

高卒の求人に応募できる

大学や専門学校にも進学できちゃう

受験できるようになる採用試験・国家資格もあるんだ

自分の可能性が広がるね



愛知県教育委員会委託事業
「若者・外国人未来応援事業」

無料 学習支援

日時：毎週 火・金 19:30～21:30

場所：豊橋市青少年センター（豊橋市牟呂町字東里26番地）

問合せ：090-9894-8823（ナカタ）

Q 高等学校卒業程度認定試験（通称 高卒認定試験・高認試験）に合格するとどうなるの？

A 大学・短大・専門学校 の受験資格 が得られます。
ハローワークの求人で高卒資格と同等と見なされたり、受験できる採用試験・国家資格が増えたりと、就職や転職の幅が広がります。

いつどこで どうやって受けるの？

- ・試験は年2回 8月と11月（それぞれ2日間）試験会場は名古屋市又はその近郊です。
- ・試験の申し込み方法や申し込み用紙への書き方も「学習支援」で教えます。

合格するには？

- ・何科目の受験が必要かはその人その人で異なります。
（高校中退の場合取得済みの単位があれば、その分が一部免除になります。）
- ・一度にすべての科目を受ける必要はありません。自分のペースで受験可能です。
- ・試験は選択式（マークシート方式）です。

- ・一部科目（1科目以上の合格者）の合格率は毎年80%前後あるので、2～3回に分けて少しずつ全科目の合格を目指していくと、難易度がかなり下がるのでおすすめです。
（もちろん一度に全科目の合格を目指しても大丈夫です）

思ったより簡単に合格できるかも



個別指導で、試験に出やすいポイントを重点的に勉強できます！
また学習に向けた相談にも乗っています。
詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

気軽にチャレンジ！

NPO法人いまからの学習支援（無料）

日時：毎週 火・金 19:30～21:30

場所：豊橋市青少年センター
（豊橋市牟呂町字東里26番地）

問合せ：090-9894-8823（ナカタ）



愛知県教育委員会では、高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）合格に向けた学習支援等を行う「若者・外国人未来応援事業」を県内7地域にて実施しています。 問合せ：愛知県教育委員会 生涯学習課 052-954-6780

まちの機関と連携して あなたの悩みをサポートします
（学習支援以外の悩みはこちら↓）

就職相談

とよはし若者サポートステーション
就活に向けた相談
他各種支援

ハローワーク豊橋
職業相談・紹介

小中学生とその保護者の相談

豊橋市教育委員会
学校教育課 教育会館
（教育相談室）

不登校・いじめ・学校に関する事
（にじの子相談室）
こどもの発達や行動について

外国人相談
がいこくじん そうだん

豊橋市役所 多文化共生・国際課
とよはししやくしょ たぶんかきょうせいこくさいか

豊橋市こども若者総合相談支援センター
ココエール

豊橋市の総合相談窓口

39歳までのこども・若者に関するあらゆる相談に応じます（親子関係・不登校他）

がいこくじんのいろいろな
そくだん
（ぼるとがるご）
（えいご）
（たがるご）

悩み事
心の相談

豊橋市 保健所
健康増進課
精神科医・公認心理師
保健師による相談

NPO法人いまから

ひきこもり・不登校・ニート等
家族問題を含む様々な若者支援

- ・ココエール 0532-54-7830
- ・とよはし若者サポートステーション 0532-48-7808
- ・ハローワーク豊橋（豊橋公共職業安定所） 0532-52-7193
- ・豊橋市役所 多文化共生・国際課 0532-51-2007
（↑とよはししやくしょ たぶんかきょうせいこくさいか）
- ・豊橋市教育委員会 学校教育課 教育会館
（教育相談室） 0532-33-2115
- （にじの子相談室） 0532-33-1366
- ・豊橋市役所 健康増進課（豊橋市 保健所） 0532-39-9145



【ようび】 もくようび（THU）

¥0
（FREE）

【じかん】 19:30～21:30

【ばしょ】 とよはしし せいしょうねん せんたー

【TEL】 090-9894-8823（なかた）

ひらがな かたかな かんじ

こんにちは

べんきょう

Let's study



外国人を対象とした日本語学習支援を毎週 木曜日の 19:30～21:30 に豊橋市青少年センターで無料で行っています。（テキスト代等もありません）一人ひとりに合わせた個別指導を行います。



みんなで応援します、あなたの未来!

踏み出す一歩!!

高卒認定試験って何? どんない事があるの? いつ、どこであるの? 誰でも受けられるの?

高等学校卒業程度認定試験
合格すると、大学・短大・専門学校を受験資格がもらえます。中卒より良い条件で就職や転職ができます。

期日：8月と11月の年2回(各2日間)
会場：県内では、例年名古屋市又はその近郊の会場で実施されます。申込み：「受験案内」を手に入れてください。(4月上旬～、7月下旬～ 青少年センターなど県内数か所配布)

試験はむずかしいの...?
◎ 毎回約40%の人が「高卒認定試験合格」、約90%の人が1科目以上に合格(科目合格)しています!
◎ 8～10科目に合格すると、「高卒認定試験合格」です。
◎ 合格科目は次の試験から受験免除になります。
◎ 一度に全て受験する必要はなく、自分のペースで受けられます!
◎ 解答は全て選択式です。

検索 高卒認定 愛知県

なんと、タダ!

若者・外国人未来塾
(愛知県教育委員会委託事業)

中学卒業後の進路が未定の人、高校を中退した人、高校の勉強についていけない外国籍の人(各39歳まで)に、教師OB・大学生ボランティアのみなさんが勉強を教えてくれるよ。

開催日：水・金曜日 18:00～21:00
毎月第1・3土曜日 13:30～16:30
内容：学習指導、学習相談
会場：青少年センター 4F 会議室
費用：無料

豊田市青少年センター
〒471-0034
愛知県豊田市小坂本町1丁目25番地
(豊田産業文化センター内)
TEL 0565-32-6296 FAX 0565-32-6298
e-mail youth@hm2.aitai.ne.jp
HP https://youth-toyota.com/
※運営：公益財団法人豊田市文化振興財団



安心して楽しく暮らす



まちのいろいろな機関をつなぎ、みんなで支えるネットワーク!

受講料
教材費
無料

中学卒業後に進路が
決まっていない・・・

高校中退した
けれど・・・

そんなお悩みを抱えているあなた

高卒認定試験合格！を めざして、一緒に勉強して みませんか？

— 無料の学習支援をやっています —

学習支援(若者・外国人未来塾)の開催概要
▼ いくつかでも参加可 ▼

【開催日時】 毎週 月・木曜日(祝日除く) 18時～20時(1回 120分)

【開催場所】 駅前第3共同ビル4F(JR春日井駅から徒歩1分)

【対象】 中学校卒業後の進路未定者、高校中退した人等

お申込み・お問合せ先

実施団体
NPO法人 **ワーカーズコープ**
担当：小楠（おぐす）

052-222-3850

駅前第3共同ビル4F (春日井市中央通一丁目88)
JR春日井駅から徒歩1分

至名古屋 至高岡 至多治見

2020年度 愛知県教育委員会委託事業「若者・外国人未来応援事業」

若者・外国人未来塾について

高校を卒業していないことで、就職やキャリアアップにおいて不利な立場になっていることが多いと感じている人を対象に、無料で、学習支援及び相談・助言を行うのが「若者・外国人未来塾」です。

『高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)の合格』を目標に、一人一人の学習段階に合わせたカリキュラムを組み、無理をしない範囲で学べるようにしています。

高卒認定試験Q&A

Q1 高卒認定試験に受かると何がいの？

- ① 大学・短大・専門学校の受験資格が得られます！
- ② 就職や転職に、中卒よりも良い条件として活用することができます！

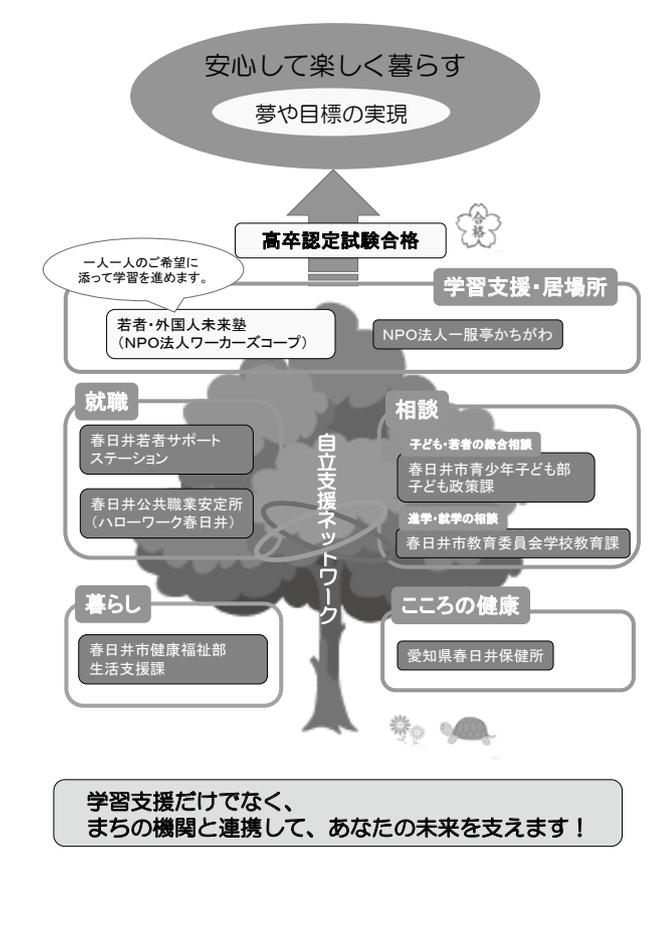
Q2 いつ、どこで、どうやって受けるの？

- ① チャンスは年2回。8月と11月(それぞれ2日間)。
- ② 愛知県では、例年名古屋及びその周辺に会場が設置されています。
- ③ 申込みには、まず「受験案内」が必要です。
4月上旬と7月下旬、県内の8か所配布しています。もちろん、ここ(駅前第3共同ビル4F)でも入手できます！

Q3 合格するには？

- ① 8～10科目の試験に合格すると「高卒認定試験合格」です。
- ② 受験生の4割程度の方が「高卒認定試験合格」。約9割の方が1科目以上に合格(科目合格)しています。
- ③ 合格科目は次回から受験免除になるから、一度で全部合格する必要はありません。
- ④ 解答は全て選択式です。
- ⑤ 高校中退の場合でも、取得した単位があれば、受験免除になる科目があるかもしれません。在籍していた高校で確認しましょう。

**高卒認定試験も含めて、学習に関することについて
お気軽にご相談ください。**



このリーフレットを手にとられた方へ

まちには、学習以外にも、就職に迷っている方、こころの悩みを抱えている方の相談を伺うさまざまな支援機関・団体があります。
(下記の窓口に、直接ご相談いただくことも可能です。)

次のメッセージは、それぞれの支援機関・団体から届けられたものです。

春日井若者サポートステーション

働くことに踏み出したい若者たちとじっくり向き合い、本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し、「職定着するまで」を全面的に、バックアップする厚生労働省委託支援機関です。全国で177か所。無料です。安心して相談して下さいね。
0568-37-1583

春日井公共職業安定所(ハローワーク春日井)

人と仕事を結ぶための総合的な公的機関として、就職に関する様々な相談や支援サービスを提供しています。就職に向けて「何から始めたいの？」、「どう始めればいいのか？」といった悩みや疑問などにも幅広く対応しています。
0568-81-5135

愛知県春日井保健所

うつやひきこもり、こころの悩みを抱えている方やその家族からの個別相談や、ひきこもりの家族同士が交流できる場として「家族のつどい」を開催しています。家族だけの相談もお受けしています。お気軽にご相談ください。
0568-31-0760

NPO法人一服亭ちがわ

まずはここに来て落ち着ける場所となれば良いです。自分の気持ち、悩み、不安を共有し、そこから将来について話し合い、就職のこと、学習のことなどについて支援していく居場所です。
0568-29-7094

NPO法人ワーカーズコープ

私たちは、愛知県教育委員会の委託を受け、高卒認定試験に向けた学習会を行っています。高卒認定試験に興味のある方、学び直したい方、まずはご連絡ください。
052-222-3850

春日井市青少年子ども部子ども政策課

春日井市子ども・若者総合相談を設置し、さまざまな不安や悩みを抱える子ども・若者、そのご家族の方の相談を受けるほか、支援機関の紹介等、必要な情報の提供や助言を電話やメールで行っています。予約制で直接相談も可能です。
0568-82-7830

春日井市健康福祉部生活支援課

現に経済的に困窮し、生活や仕事などの悩みでお困りの方に対し、一人ひとりの抱える課題の解決と生活の安定・自立を目指して相談者と相談支援員が一丸になって取り組んでいます。
自立支援相談コーナー(春日井市役所2階)
0568-85-6152

春日井市教育委員会学校教育課

<春日井市いじめ不登校相談室>
小中学校のいじめや不登校に関することについて、児童生徒とその保護者を対象に、電話と面接で相談を実施しています。
0568-34-8400

<進路指導教室(あすなろ教室)>※
春日井市内小中学校の児童生徒の学校復帰を円滑にするための指導・援助を行います。
<相談室ひまわり>※
発達にさまざまな小中学校の児童生徒及びその保護者からの相談に応じることにより、該当児童生徒の学校生活や学習についての改善を図ります。
※往來する学校を通じてご相談ください。

**お悩みは一人で抱え込まずに
ぜひご相談ください。**

「若者・外国人未来応援事業」問合せ先 愛知県教育委員会生涯学習課
052-954-6780



愛知県教育委員会委託 若者・外国人未来応援事業

中学校を卒業した後に進路が決まっていない方や高校を中退した方などを対象に、
『高等学校卒業程度認定試験』に向けた学習支援を行います。

■開催概要

日時：毎週水曜 15:00～17:00
(第4水曜は休館日のため実施しません)
毎週土曜 13:00～17:00

場所：クラシティ市民活動ルームまたは、
ちた地域若者サポートステーション内
料金：無料



■問合せ・申込先

ちた地域若者サポートステーション
〒475-0857
愛知県半田市広小路町 155-3 クラシティ3階
TEL：0569-89-7947
FAX：0569-89-7948
Mail：chitasapo@icds.jp

受付時間

火～土曜 10:00～17:30
第1・3火曜 10:00～20:00
休日：日・月・祝・第4水曜

■実施団体

NPO 法人 ICDS



愛知労働局委託

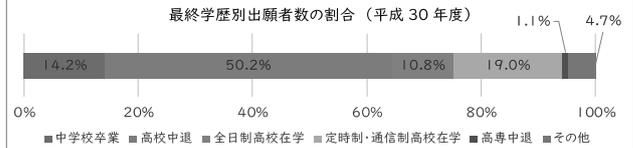


ちた地域若者サポートステーション

『高等学校卒業程度認定試験』とは

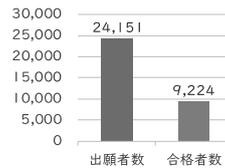
様々な理由で高校等を卒業していない人のために、「高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を文部科学省が認定する試験。

高卒認定試験に合格すると、大学・短大・専門学校の受験資格が得られます。
進学だけでなく、就職や資格試験の受験にも活用可能です。



出願者と合格者数

(平成30年度) ※文部科学省発表



■受験資格

16歳以上になる大学入学資格のない人
(高校、中等教育学校、高等専門学校、
専修学校高等課程などを卒業していない人)

- 中卒の人
- 高校を中退した人
- 高校に在学しているが通学していない人

18歳になる前にすべての科目に合格した場合、
18歳の誕生日から合格者になります。

受験科目等の詳細は文部科学省HPをご覧ください。
願書受付期間、試験日、試験会場については
愛知県教育委員会生涯学習課へお問い合わせください。

高卒認定 文科省



- 高卒認定試験に合格して、進学したい!
 - 資格試験受験のために合格したい!
 - 就職にも有利になるの?
 - 興味はあったけど、勉強を続けられるか自信がない
 - とにかくどうしたらいいか、よくわからない
- 詳しくは「ちた地域若者サポートステーション」へ
※R1年度はちたサポから2名の合格者か!!



若者・外国人未来塾のリーフレット/チラシ

2017年度

- 【名古屋】2017リーフレット
- 【豊橋】2017リーフレット
- 【豊田】2017リーフレット

2020年度

- 【県内7地域】2020学習支援
- 【名古屋】2020学習支援
- 【一宮】2020学習支援
- 【豊橋】2020学習支援
- 【豊田】2020学習支援
- 【春日井】2020学習支援
- 【蒲郡】2020学習支援
- 【半田】2020学習支援